

工事概要

安城北中学校北館ほか屋上防水改修工事 一式

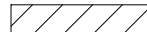

- 本工事は特記事項以外、次の規程に準拠すること。
- 1) 安城市契約規則及び安城市工事施行に関する事務取扱要領
 - 2) 工事請負契約書
 - 3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(最新版)及び「同監理指針」(最新版)
 - 4) " " 「建築物解体工事共通仕様書」(最新版)

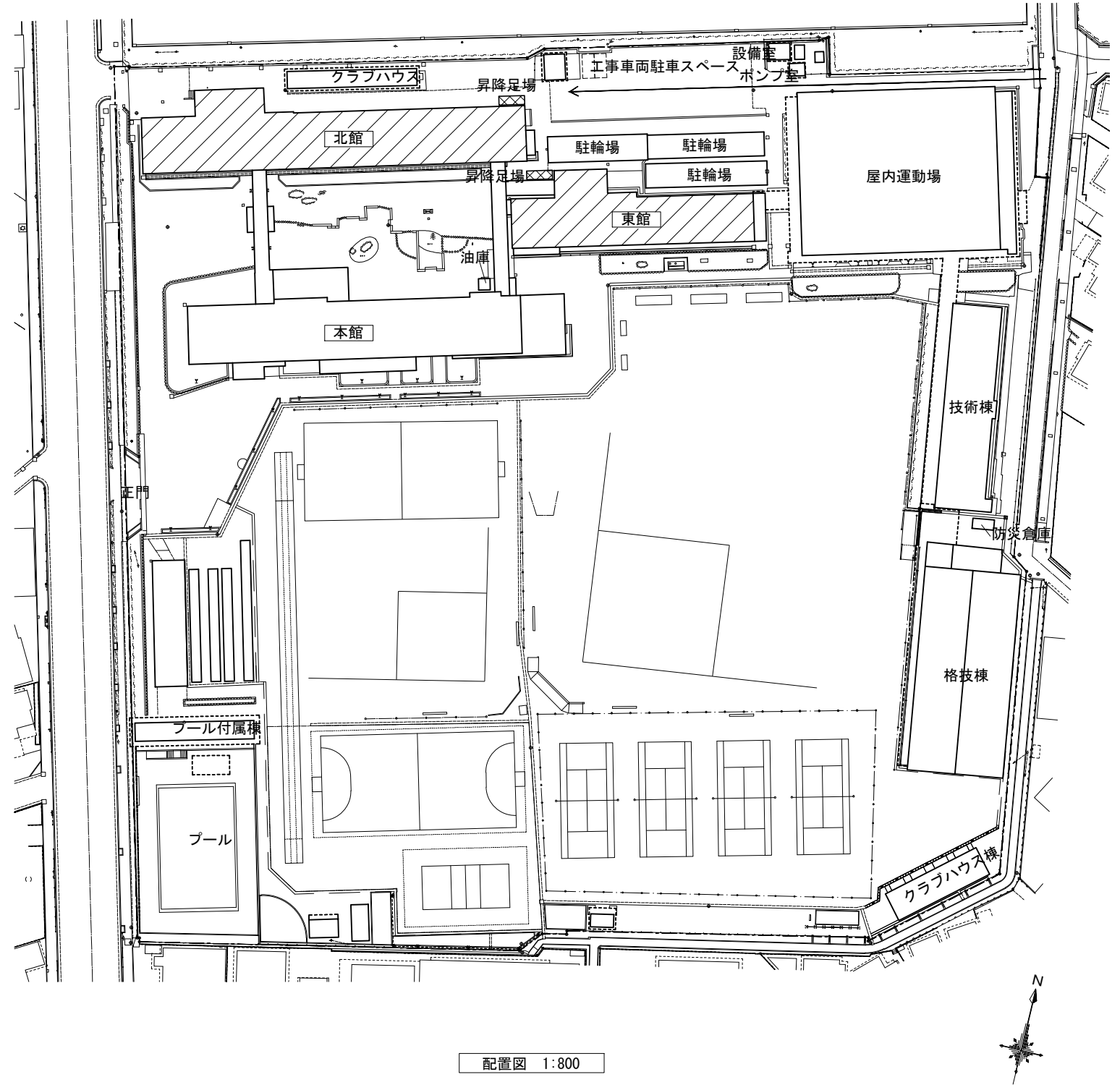
特記事項

- 1 一般事項
 - ・工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公庁その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行うこと。
 - ・工事の実施にあつては、入居しながらの施工となるため、生活に支障のないように仮設計画、安全計画を立てること。
 - ・現場の保護柵、養生、整理清掃は適切に行うこと。
 - ・請負代金が500万円以上の工事は、その内容について監督員の確認をJACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って受けた上、受注時、変更時、竣工時に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事实績情報システム(CORINS)の工事实績情報の登録を行うこと。また、登録後、JACICが発行する「登録内容の確認書」を監督員に提出すること。
 - ・発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他関係法令の規定を遵守し適正に処理すること。
 - ・工事完了時には完成図(Auto CAD LT DWG形式)を作成し、提出すること。
 - ・工事写真は130万画素を基本とする。
- 2 仮設工事
 - ・外部足場は設置位置は協議により決定すること。(くさび緊結式とする。)
 - ・足場については、1.2.6-2に規定に関わらず、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
 - ・外部足場外周はネット状養生シート(防災1類)とすること。
 - ・屋上で作業中は周囲に親綱などを設け、転落防止措置を行うこと。
- 3 その他
 - ・工事中の施設利用者への安全対策は十分に注意すること。
 - ・工事中のほこり及び材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。
 - ・ひび割れ、浮き、欠損部補修について、設計図中の数値は参考値とし、実測による調査での数量増減については、設計変更の対象としないものとする。

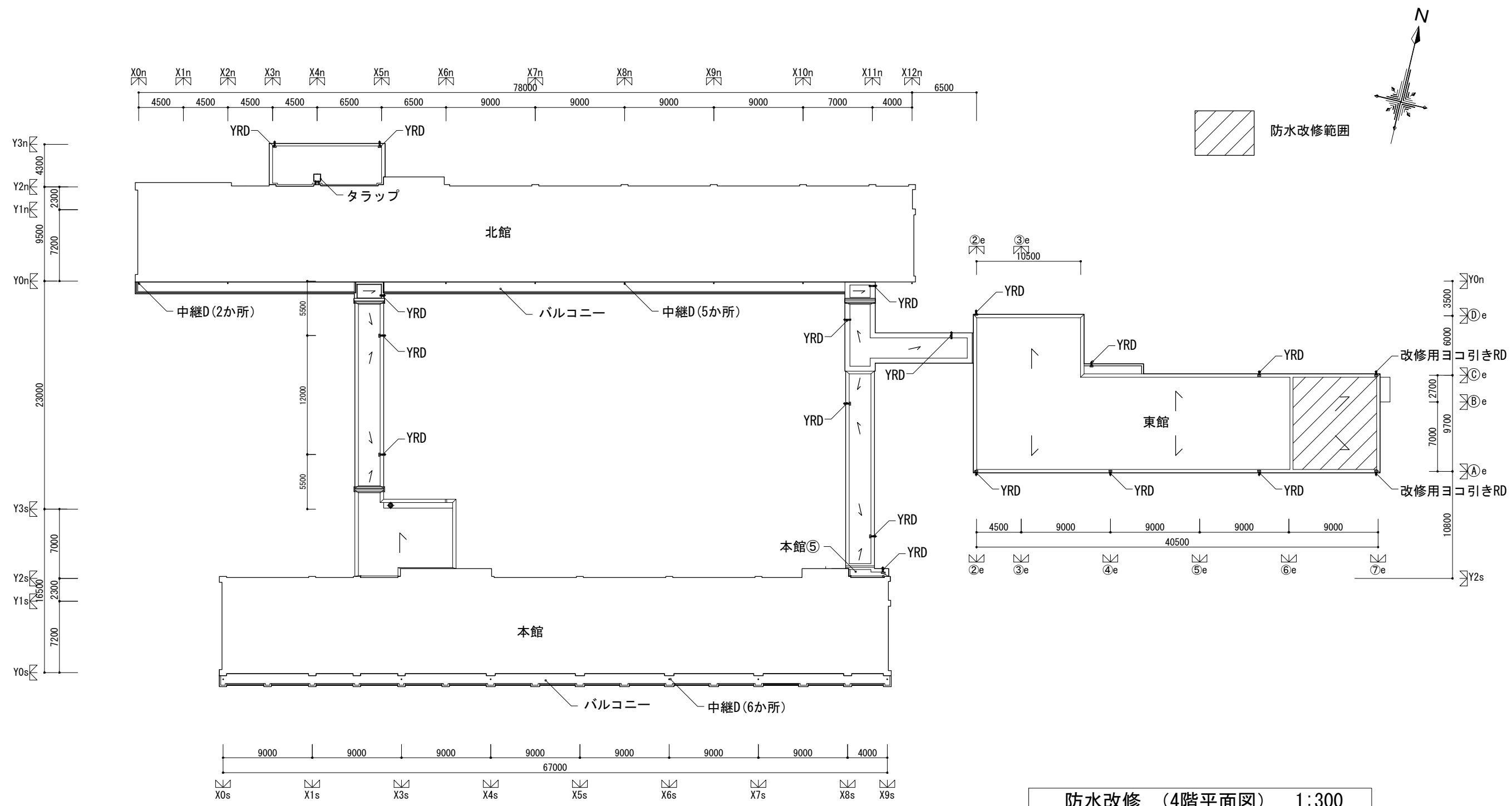
* 荷揚げ用クレーン周囲などは、カラーコーン等の保安施設により、施設利用者の安全確保に十分配慮すること。
 また、設置時期及び位置については、施設の活動に影響の無い様、施設管理者と協議の上、決定すること。

凡例

- ← 工事搬入経路
-  改修対象棟(北館、東館の一部)
-  昇降足場
くさび緊結式足場(手摺先行方式)、ネット状養生とする。
※昇降足場最下段には、パネルフェンスH1800を設け、足場内部への侵入防止対策を図ること。
※仮設計画について、事前に学校との協議を十分に行うこと。

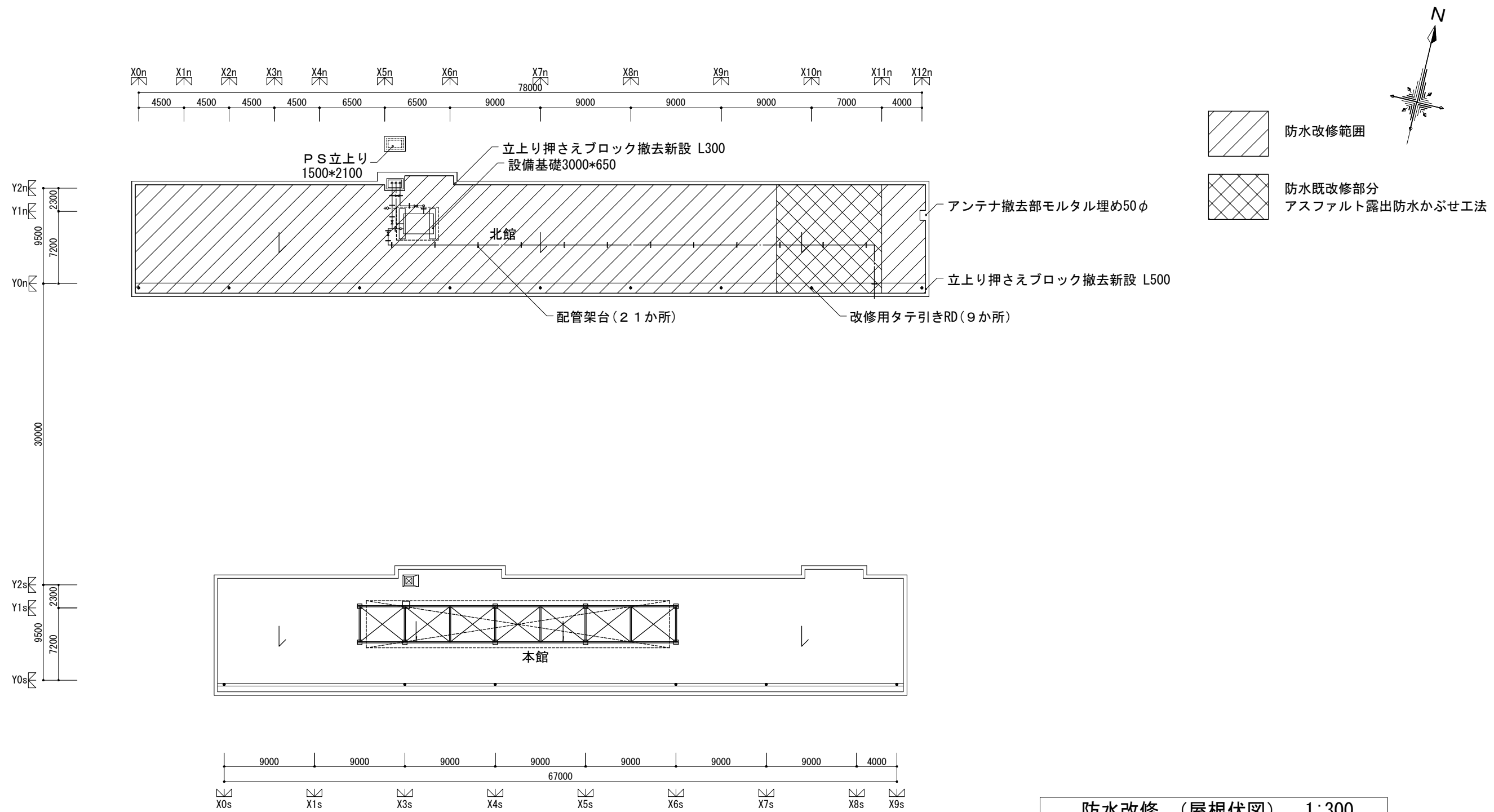


訂正		安城市建設部施設保全課	工事名	安城北中学校北館ほか屋上防水改修工事	図面名称	特記仕様・配置図・仮設計画図			
			製図	平成29年8月	作図者	櫻井	縮尺	A2:1/800	図面番号



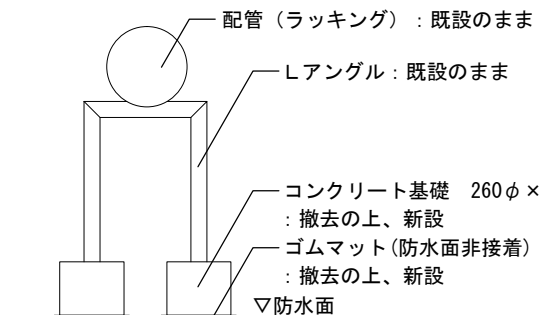
防水改修 (4階平面図) 1:300

訂正		安城市建設部施設保全課	工事名	安城北中学校北館ほか屋上防水改修工事		図面名称	4階平面図	
			製図	平成29年8月	作図者	櫻井	縮尺	A2:1/300



防水改修 (屋根伏図) 1:300

訂正	安城市建設部施設保全課	工事名	安城北中学校北館ほか屋上防水改修工事		図面名称	屋根伏図	
		製図	平成29年8月	作図者	櫻井	縮尺	A2:1/300

東館	部分詳細 1 (立上り: アスファルト露出層防水, 笠木: モルタル塗) 1/15		部分詳細 2 (立上り: アスファルト露出層防水, 笠木: アルミ笠木) 1/15			
	[改修前]	[改修後]	[改修前]	[改修後]		
北館	部分詳細 3 (立上り: 押さえブロックの上アスファルト露出層防水, 笠木: モルタル塗) 1/15		部分詳細 4 (設備基礎廻り) 1/15		部分詳細 5 (PS立上り廻り) 1/15	
	[改修前]	[改修後]	[改修前]	[改修後]	[改修前]	[改修後]
北館	部分詳細 6 (配管架台) 1/10		【防水改修共通仕様】			
	 <p>※基礎撤去時は、既設配管をジャッキアップし、支持をとること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・既存 : アスファルト露出防水 ・下地処理 : 膨れ補修(炙り戻し) : 下地活性化材塗布(アスファルト系) ・改修 : ウレタン塗膜防水 : 通気緩衝工法 X-1 (自着層付シート かぶせ工法) ・脱気筒 : 北館12箇所 東館2箇所 ・立上り : ウレタン塗膜防水 密着工法 X-2 ・設備基礎 : ウレタン塗膜防水 密着工法 X-2 <p>※ 機械基礎・PS立上り・ハッチ等で防水を立ち上げているものについても、上図に準じて施工する。 ※ 渦電流式非破壊式膜厚測定器を用い、膜厚を測定すること。 ※ 立上り及び溝部の補強メッシュは、平場の通気緩衝シートとの重ね巾が平場側で100mmになるように施工すること。 また、防水塗膜についても同様に、重ね巾が平場側で100mmになるように立上り及び溝部の塗膜を施工すること。 ※ 防水面は水洗い(15MPa)すること。 ※ 浮き部については、アンカーピンニングエポキシ樹脂注入(@400)を行うこと。 (参考数量: 浮き部補修 23.5m) ※ 笠木モルタル・押さえブロック面のひび割れについては、Uカットシーリング(1.0mm以上)を行うこと。 (参考数量: Uカットシーリング 26.0m) ※ 塗膜防水密着工法 X-2の下地は、下地調整(樹脂モルタル)を行うこと。特に ひび割れ部は十分に補修し、平滑に仕上げること。</p>			
訂正			安城市建設部施設保全課		工事名 安城北中学校北館ほか屋上防水改修工事	図面名称 部分詳細図
			製図 平成29年8月		作図者 櫻井	縮尺 A2:1/10, 1/15
					図面番号 4 / 4	